



発行所
財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関 山 巧
定価 1部44円
題字 井 戸 知 事

消えるまで
ゆっくり火の元
にらめっ子

平成二一年度理事会・代議員会開催

兵庫県消防協会

平成二一五年五月二〇日(水)クラウンプラザ神戸において、兵庫県知事のご出席を得て、兵庫県消防協会理事会・代議員会が開催されました。
理事会・代議員会の主な議案は次のとおりです。

第一号議案

平成二〇年度兵庫県消防協会収支予算の第二次補正予算の承認について

第二号議案

平成二〇年度兵庫県消防協会事業報告及び平成二〇年度収支決算の承認について



平成 21 年度理事会・代議員会

◎事業の実施状況

- ・ 会議の開催
- ・ 防火思想の普及事業
- ・ 機関紙の発行事業
- ・ 事業調査研究事業
- ・ 教育訓練事業
- ・ 消防操法大会事業
- ・ 表彰事業
- ・ 福利厚生事業
- ・ 地区振興事業
- ・ 消防団組織強化対策事業

◎決算の状況

収入額 三八、六〇三、六七二円
支出額 三八、四〇六、八〇三円
収支差額 一九六、八六九円

報告事項

- ・ 平成二一年度兵庫県消防協会事業計画及び同収支予算について
- ・ 役員等の異動について
- ・ 平成二一年度消防団員研修の参加について
- ・ 「ひょうご消防のつどい二〇〇九」の開催について

「兵庫消防」 地区通信員会議開催

平成二一四年四月二四日(金)に第二七回「兵庫消防」地区通信員会議を兵庫県災害対策センター会議室で開催しました。編集部といたしましても、皆様から親しまれる「兵庫消防」を作成していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

本年度の地区通信員の方々をご紹介します。(敬称略)
○神戸地区
神戸市消防局 藤森 栄二
○阪神地区
伊丹市消防局 山本三人次

○東播磨地区
加古川市消防本部 黒田 和成
○中播磨地区
姫路市消防局 福田 哲也
○北播磨地区
にしたか消防本部 宇達 康裕
○西播磨地区
六栗市役所 橋本 徹
○但馬地区
豊岡市役所 太田 裕生
○丹波地区
丹波市消防本部 近藤 孝
○淡路地区
淡路市役所 大植 和幸

平成二一一年春の褒章

平成二一一年春の褒章が四月二九日(昭和の日)に発令されました。

〈兵庫県下受章者(消防功労)〉

◎藍綬褒章

姫路市安富町消防団 団 長 梅田 善幸



神戸市西消防団

団 長 北井 道男



兵庫県功労者表彰式 盛大に行われる

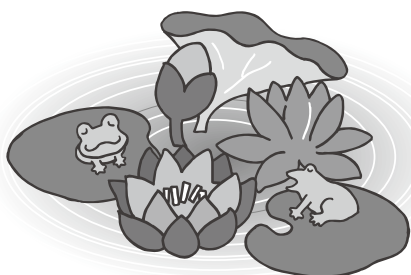
平成二一一年度兵庫県功労者表彰式が六月二日(火)に兵庫県公館で執り行われ、六名の消防関係の方々を受賞されました。なお、受賞者は、次のとおりです。

◎防災・消防功労(消防関係者)

神戸市消防局 消防司監 小野田敏行
姫路市飾磨消防団 団 長 梶原 哲
相生市消防団 団 長 河合 勝
明石市消防本部 前消防正監 東森 茂久
赤穂市消防団 団 長 望月 昌次

豊岡市竹野消防団

団 長 山根 昌勝
(敬称略)



兵庫県知事選挙

投票日 7 月 5 日 (日)

投票時間 午前7時～午後8時 (一部の地域を除く)

投票日当日、仕事、買い物、レジャーなどの予定がある方は、期日前投票をすることができます。

【期日前投票のできる期間】

6月19日(金)～7月4日(土)

詳しくは、住所地等の市区町選挙管理委員会へお問い合わせ下さい。

みなさんそろって投票しましょう!!

地区通信

「平成二一年度出初式」

香美町消防団

平成二一年四月一九日（日）午前九時から、村岡小学校グラウンドで、平成二一年度香美町消防団出初式を挙行了しました。

出初式は、三町合併後、五回目となりますが、当日は好天に恵まれ、四月にもかかわらず夏日となり、合併した平成一七年度以来、四年ぶりの屋外での開催となりました。

兵庫県知事代理 但馬県民局副局長をはじめ、多数のご来賓のご臨席をいただき、団長以下五五六人が参加しました。式は村岡高等学校吹奏楽部の行進曲の演奏による分列行進でスタートしました。

式典では、まず、新役員及び新入団員が団長から辞令を受け、新入団員の代表が「消防団員の一人として、訓練を重ねながら災害の防御に努め、地域住



分団行進

民の期待に応えるべく、力いっぱい努力することを誓います」と誓いのことを述べました。続いて、町長から「いかなる状況の中でも常に先頭に立つて活動し、町民の安心・安全の確保に努めていただきたい」と激励を受け、団長から「地域の中堅として、住民から全幅の信頼と期待が寄せられており、この大きな期待に応えるべく、団員としての自覚と資質の向上にさらに努力し、優れた知識と技術を身につけ、常に危機意識を持って、行動してもらいたい」と訓示を受けました。

続いて、消防庁長官表彰をはじめ、各種表彰の伝達が行われ、最後に観閲を受け、式典は終了しました。引き続き、訓練演技が行われ、消防本部と合同で一斉放水を行いました。本町では、平成二〇年度に二四件の火災が発生しており、前年度に比べ倍以上と大幅に増加しています。そのうち建物火災一件では一名の尊い命が犠牲となりました。また、列車火災も発生するなど、不測の事態も起きています。近年の災害は、頻発、多様化しつつあり、さらに最近では、ゲリラ豪雨のように局地化の傾向を呈し



一斉放水



新入団員 誓いのことば

「消防団に入団して」

豊岡市日高消防団 第七分団第三部

江尻 剛



私は、平成一六年四月に現在所属する豊岡市日高消防団第七分団に先輩団員より誘いをうけ、入団させていただきました。消防団に入団し、消防団というのは、消火活動の他に本当に

多くの役割を担っていることを知り驚きました。そして、消防団の活動を通じて、団員はもちろん、地元住民との交流が増え、誘いをかけていただき本当に良かったと思っています。

消火活動において、私は機関操作を任せられることが多いです。まず水を筒先に送れないことには消火を始めることも出来ませんし、また、誤った操作によって筒先員を危険にさらしてしまうことになるので、操作の度に緊張の連続です。

そういう局面に接し、訓練の大切さが良くわかりました。普段はそれぞれ仕事に就いている消防団員にとって、訓練をする

機会はいくらでもありません。その中で、操法大会に出場させていただいたことが大きな経験となりました。集中的に訓練できたことでポンプ操作の基本をしっかりと覚えることができました、また、全体の消火活動の流れを把握できたことで、実際の火災現場での自分の動き方を大きく変えることが出来ました。

今では後輩団員も入団して、教える立場となる事も増えてきました。自分自身まだまだ学習すべきことが多いですが、これまでの自分の経験を伝えながら、一緒に頑張ってこれからは地域に役立てるようがんばっています。

われら若手消防団員 <19>

「ポンプ車新調」 芦屋市消防団 精道分団班長 中野 克彦



た四輪駆動のCD-II型を保有しておりましたので、自分も早くそのポンプ車の機関員として活躍したいと願っておりました。機関員の先輩につきまとい、あれこれ質問しながら一生懸命学習しました。先輩方も熱心に指導してくださいました。今思えば、生意気でしつこい人間だと思われたことでしょう。

念願がかない現在は機関員を

させていただいておりますが、昨年転機がおとりました。現在のポンプ車が導入後、一五年を経ていること等により新調されることになりました。今までですと、出来上がった車両が消防本部より導入されるだけでしたが、団長のご配慮により分団員の要望を取り入れた車両を製作していただくことになり、実行委員会が結成されその一員に選出してくださったのです。

ベースになる車両から装備品、装備品の配置、パトライトの形式、サイレンアンプまで

すべて自分たちで話し合い、消防本部の装備担当の方、団長の助言をいただきながら決めていきました。驚いたのは、中間検査まで団員である私までもが立ち合わせていただきました。理由はあとでわかったのですが「団員が初めから少しでも携わっていただければ、今以上に車を大事にしてくれる。」と言う団長の思いがあったようです。

阪神大震災等で活躍した先代のポンプ車に変わって、平成二〇年一二月に日野レンジャーをベースにしたCD-II型のポンプ車が納車されました。自分達の要望で出来上がったポンプ車だけに喜びも大きかったです。

起きないことが第一ですが、有事の際には的確且つ迅速に対応できるように、本署隊の方々に指導いただいております。

また、団長は人命救助にも熱心で、応急手当普及員の資格取得も奨励されており、私も昨年



長野ポンプ 機装A-2搭載 (b-II型)

取得して自主防災訓練や各種イベント等で普及活動を行っています。今後最初心を忘れず「街の防人」として、また後輩団員の見本となるべく活動をしていきたいと思っています。



きたいと思っています。

「あれから十四年」

淡路市消防団

北淡地区団長

伊藤 建美



淡路市消防団は、平成十七年四月の淡路市発足と共に淡路町・津名町・北淡町・一宮町・東浦町の消防団により組織されました。

淡路市消防団北淡地区は、現在の編成として六分団、二七

消防団今昔

59

『地域一体型の防災まちづくり』を

目指して

小野市消防団団長

小林 正幸



小野市は、東播磨地域のほぼ中央に位置し、大部分は平地で、西南端の一部には山地があり、市域の西側には県下最大の流域を持つ加古川が北から南へ流れています。

また、小野市内には、貴重な数多くの文化財が残っており、その中で東播磨平野の一角に建てられた極楽山浄土寺は、我が国が誇る文化財の宝庫であり、歴史上・学術上重要な価値

部、五一〇名をもって構成しており、北淡地区の人口比率では約五％が消防団員であります。

平均年齢が約三十七歳で、ほとんど二〇歳から二五歳で消防団員となり、退職制度がないものの二〇年ぐらゐ消防団員として任務を果たし、四五歳ぐらゐで若者に法被をゆずるのが昔からの風習となっています。

北淡地区消防団を語る中で、忘れてはいけないのが、今から一四年前に発生した、阪神・淡路大震災です。

それまで災害のない風光明媚な住みよい町が戦後最大という未曾有の大災害を被るとは誰もが想像しなかったことであります。淡路市の北部を震源地とし

て発生した直下型大地震は一瞬にして尊い生命、財産を奪う大惨事となりました。

当時、私は北淡町消防団富島分団自動車部の班長でした。

我々消防団は、地震後まず自分達の家族の救出及び安否の確認から始まり、その後、外へ出ると住民から「隣のおじいちゃん、おばあちゃんが生きて埋め

なっている、早く助けてくれ」とあちらこちらで叫んでおり、消防団員が三から四人のグループとなり、隣の家、次の家といった積み重ねで約三〇〇名の生き埋めの住民を救出しました。

家屋の被害はほとんど木造住宅であったため、消防団員が各自近くの電気、建設業者の倉庫

から機材をもちだし、屋根瓦は手で取り除き、屋根の木々はチェーンソーやノコギリで切り取り、鉄の棒やボールを使いテコの原理で持ち上げる方法により、消防団員でも救出活動ができたということでもあります。

あれから一四年が過ぎ、震災後約五〇〇名の消防団員が退団しています。

私は北淡地区の地区団長に就任して三年目になりますが、この災害で得た、先輩達の貴重な体験等を団員に伝えていくのも地区団長としての役目だともっています。

四月に消防団長に就任し、消防団員に「自分達の町は自分達で守る」ことを念頭に、数々の訓練や現場活動などの指導をしてきました。

しかしながら、私が消防団長に就任してからは、年々消防団員のサラリーマン化に伴い、団員数の減少が顕著に表れ、過去五年間を見ても全体の八〇％以上がサラリーマンであり、減少することなく増加の一途をたどっています。

このような状況を周知してもらうために、各町の区長に消防団員の実態等各地区で「運営協議会」と称して、今後の消防団のあり方などを協議し、「自分達の町は自分達で守る」を基本に、消防団組織と各町が一体となつて地域を守っていくことを目指し協力を求めています。

その結果、「秋の火災予防運動」の一環として、消防団員と各町の区長、自主防災組織、住

北から南から

「県立宝塚西谷の森公園で

大規模な林野火災訓練を実施!!」

宝塚市消防団

宝塚市は、阪神都市圏の中央背後部に位置し、兵庫県中北部方面への玄関口となっています。宝塚歌劇・手塚治虫記念館・阪神競馬場等には、年間約一、〇〇〇万人の観光客が全国各地から訪れ、「おしゃれ」「華やか」「きれい」といった言葉で彩られた「美しい都市」として知られています。本市の消防団は、昭和二十九年四月発足以来、市街地消防団が統廃合され、昭和五〇年九月末をもって北部地域（南北一五km、東西五kmの周囲を山林に囲まれた地域）のみに、一団本部・一分団が再編成され、現在に至っています。

今回は昨年七月にオープンしたばかりの「兵庫県立宝塚西谷の森公園」で本市消防団が実施しました林野火災訓練についてご紹介させていただきます。

その前にまず、「兵庫県立宝塚西谷の森公園」について簡単に紹介させていただきますと、宝塚西谷の森公園は、平成二〇年七月二七日に開園した県立のCSR施設です。

CSRとは「Culture（文化）」「Sports（スポーツ）」「Recreation（レクリエーション）」を略したもので、文化体育館、会議・研修の場や文化・スポーツ施設があります。中でも、自然と触れ合いながら森づくりを楽しむ、学ぶことができる「ふるさとの森公園」として、宝塚市の北部に一〇一ヘクタールの敷地を整備し開園しました。

県内には他に五つ（やしろの森、ささやまの森、なか・やちよの森、ゆめさきの森、国見の森）の公園があります。宝塚西谷の森公園では、自然に学び、人たちの知恵に学ぶための体験学習プログラム、地域特性を生かした四季折々のプログラム、ボランティアによる森の保全・創造活動が行われています。



西谷の森総合訓練①



西谷の森公園訓練②

開園以来、特にウィークエンドには非常にたくさんの方々が訪れている反面、林野火災の発生が懸念されるなか、平成二〇年十一月一六日（日）に大規模な林野火災合同訓練が実施されました。この訓練は、迅速な初動体制の確立を目的として消防団と自衛消防隊が合同で実施したもので、自衛消防隊による初期消火訓練をはじめ、消防団による直列高圧送水訓練、中継送受水訓練など、限られた水利を駆使した有効な消防活動訓練を展開しました。

このように本市消防団が主に管轄する市北部地域も最近のアウトレジャーブームや京阪神地区への通過点としての影響により、林野火災・交通事故等の災害発生が増加が懸念されています。消防団においては、災害の未然の防止と災害発生時の迅速な対応が求められ、地域住民の期待がますます高まっている状況です。

今回は、消防団の活動の一部を紹介させていただきましたが、新しい時代に対応した消防団として、宝塚市消防団は「市民生活の安全の確保」のために、邁進していきます。

地 区 通 信

「女性分団 活躍中！」

播磨町消防団女性分団

私たちは播磨町消防団女性分団は、住民に対する火災予防指導や啓発、広報活動の充実と拡大を図るために平成一八年八月に結成されました。結成当時は一〇名でしたが、団員も増え現在一六名で活動しています。

当初は礼式訓練や出初め式、啓発パレード、県の研修参加等まず自分達が経験知識を得ることで手一杯でしたが、二年以上経過した今日では活動の範囲が広がってきました。

活動の柱の一つである啓発劇は現在次の三つの演目があり、小学校、幼稚園、保育園や自治会、老人会等に人気です。

①保育園・幼稚園向け啓発劇

『火はこわい〜こども編』

留守番をしているちびぶた君。ドーナツ作り、花火、仏壇に線香…と何度も火事になりそうになります。その度に女性分団ママスコットボーイのけすぞう君がやってきて、消火器の使い方や一二九通報等をコント仕立てで面白く分かりやすく説明します。



火はこわい〜こども編



住宅用火災警報器をつけよう〜嫁姑編

森に置き去りにされた白雪姫は非常用持ち出し袋を用意していたので助かります。ところが白雪姫がだんごをのどに詰まらせてしまします。そこにけすぞう君がやってきて腹部突き上げ法や背部叩打法で異物を除去します。しかし白雪姫の反応がないので心肺蘇生を行います。AEDも使用して何とか息を吹き返します。救命救急の流れを分



操法講習中

かりやすく劇にしています。

他には地震をあつかった大型紙芝居『ぐらぐらもくもく』もあります。

啓発劇以外にも、播磨町にある大中遺跡において、親子で防災を考える会主催『古代の村で防災を考える』と『古代の村復元住居で防災体験キャンプ』という催しに参加し、舞切りでの火おこし、弥生式土器での古代米炊飯と鹿肉汁作り、避難地ウォーク、防災食、復元竪穴式住居での防災体験キャンプ等を行いました。

最近では、町内で新型インフルエンザ感染者が確認されたことを受け、広報車両を使った町民への街頭啓発を行い「不要不急の外出は控え、冷静な行動を」と呼びかけました。

また今年行われる町の操法大会において女性のポンプ操法をデモンストレーションすることとなり、過去に出場経験のある稲美町消防団の協力を得ながら猛特訓しています。

これからも播磨町住民が安全・安心して暮らせるよう、私たち女性分団員が力を合わせ防火・防災啓発活動をより一層推進していきたいと思ひます。『明るく・楽しく・元氣よくをモットーに!!』

わがまちの団長さん

159

「姫路市香寺町消防団長に就任」

姫路市香寺町消防団

久斗 譲二 団長



平成二一年四月一日に姫路市香寺町消防団長に就任されました久斗団長は、昭和三一年六月一二日生まれで、昭和五四年四月に家業である鉄工所に入社され、平成一一年四月からは代表取締役社長に就任されています。

香寺町消防団に入団されたのは昭和五七年一月一日でした。また、地域に貢献する活動にも積極的に参加され、今はPTAの会長も務められています。

座右の銘は「誠実、信頼、感謝」で、「常に誠実であれ、人から信頼され、常に感謝の気持ちを持つように」との事だそう

周囲の人からは、性格は「温厚」で「真面目」と誰もが太鼓判を押されますが、自分では「行動力があり、団員から兄貴分として慕われる団長」を目指しておられるようです。

趣味は「楽しいゴルフ」・「ドライブ」と自分では言われていますが、人との会話を重視される団長で、お酒に関しては、「楽しく」「何でも」「いくらでも」らしく、「進められたお酒は断らない、全て飲み干し返杯される」とのうわさがあります。

また、平日頃から、人との会話、人の話を聞くことの重要性を説かれており、団本部の副団長はもとより、分団長にもよく相談事をされますが、「最後の決断は、団長としての責任で私がする」と言われる、決断力のある団長でもあります。

団長は香寺町消防団の良き伝統は頑なに守るが、時代の変遷に的確に対応できる消防団作りを目指しておられ、「髭の団長さん」として有名でした前白石団長の後任として、また、伝統ある香寺町の消防団長として、もとより浅学非才な若輩者ですが『誠実、信頼、感謝』の気持ちを常に忘れず、地域の防火・

「こんにちは！兵庫の消防団です」



<http://www.hyogoshoubou.jp/>

消 防 団 服

甲 種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
乙 種 刺子・木綿

ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社 三 浦 消 防

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663



防災活動に、団長として災害現場では常に陣頭指揮をして職責を全うする覚悟でございますので、今後とも関係各位のご指導ご鞭撻をよろしく願ひいたします。」とのこと。

梅雨に入り、大分暑くなつてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
さて、今月号では兵庫県消防協会平成二一年度理事会・代議員会、平成二一年春の褒章及び兵庫県功労者表彰式について掲載しております。

また、消防団今昔には淡路市消防団団長伊藤建美さん、小野市消防団団長小林正幸さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。
大雨など何かと気がかりな季節となりましたが、災害への備えを十分に、くれぐれも体調には気をつけてお過ごしください。

編集後記